

保育実習および保育実習指導の報告

広島文教女子大学人間科学部

初等教育学科 教授 善 本 桂 子

人間福祉学科 教授 木 村 敦 子

初等教育学科 教授 杉 山 浩 之

1 はじめに

国家資格「保育士」の取得を希望する保育士課程履修学生を対象とした保育実習は、保育実習ⅠⅡⅢとして行われる。本実習は保育士としての修得すべき知識・技術に関する内容が中心となる児童福祉施設で行うものであり、その目的は、保育士としての使命感を自覚し、職務内容について理解を深め、保育（養護と教育）に関する実践的能力を育成することである。

さらに実習の事前事後指導の科目として「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ（学内）」「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」が開講されている。

2 実施のスケジュール

項目	時期	主な内容
保育実習指導Ⅰ	2年後期	必修科目であり、保育実習の目的や意義、児童福祉施設の理解、保育士の仕事と役割の理解など基礎的な学修を行う。
保育実習Ⅰ（学内）	3年前期	保育実習における実践、保育実習の目標と課題、実習の留意点（日誌、個人情報、倫理、健康管理など）を学修する。
保育実習Ⅰ	3年前期 8月～9月	必修科目であり、保育所及びその他児童福祉施設において各10日間の実習を行う。この間、大学教員による巡回指導が行われる。
保育実習指導ⅡⅢ	3年後期	選択科目のⅡ（保育所）またはⅢ（施設）の保育実習に向けて、Ⅰの振り返りから新たな目標と課題、指導案作成などを学修する。
保育実習ⅡⅢ	3年後期 2月～3月	保育所又はその他の児童福祉施設において各10日間の実習を行う。この間、大学教員による巡回指導が行われる。

3 実施の概要

2年後期「保育実習指導Ⅰ」（演習2単位）では、テキスト、ビデオ教材を中心に15回授業を行う。毎授業後に学習記録を作成し、教員が書き方や内容に関して一言コメントを返している。保育所以外の施設の実習希望調査により実習先を決定する。事前事後学習としては、実習の目標と課題の作成（第1回目）、名札作成、教材演習、家事の実践、絵本の読み聞かせ、内諾訪問などがある。

3年前期「保育実習Ⅰ」(学内実習, 15コマ分)では, 実習報告会への参加, 施設および保育所の理解, 目標と課題の仕上げ, 実習報告会, 実習の留意点(勤務時間・日数, 出勤簿, 欠席等の届け出, 緊急時の連絡方法, 感染症予防接種, 実習日誌の提出返却, 日誌, 個人情報, 倫理, 健康管理など)などを通して実習への準備をしたり心構えを身につけたりする。事前事後学修としては, 実習報告会への参加レポート作成, 実習の目標と課題の作成(第2回), 事前訪問などがある。

保育実習Ⅰ(3年8~9月, 実習2単位)では, 前年度に決定している保育所(10日間)及び施設(10日間)において実習を行う。巡回教員は実習期間中に必ず1回訪問し, 学生指導を行い, 報告書を提出する。学生は, 実習を振り返っての実習報告書を作成し, グループ討議や報告会に備える。

保育実習指導Ⅱ・Ⅲ(演習各2単位)では, 実習報告会での討議・発表, 実習Ⅱ・Ⅲに向けての目標と課題の作成, 実習Ⅰの成績開示と自己評価, 指導案の作成, 実行委員による実習報告会の計画, 実習の留意点などを学修する。事前事後学修としては, 報告会参加レポート, 指導案作成, 事前訪問などがある。

保育実習Ⅱ・Ⅲ(3年2~3月, 実習2単位)では, 前年度に決定している保育所(10日間)または施設(10日間)において実習を行う。巡回教員は実習期間中に必ず1回訪問し, 学生指導を行い, 報告書を提出する。学生は, 実習を振り返っての実習報告書を作成し, グループ討議や報告会に備える。最後の実習報告会となるが, これは4年前期に行われる。

4 成果と課題

保育実習Ⅰ(学内, 15コマ分)は, 昨年度の保育実習指導ⅠBという科目から変更された。

8・9月の学外実習に向けて学修を進めた。昨年度に報告した内容とほぼ変わらない。

保育実習Ⅰ(学内)では, 実習の目標と課題を明確にしていくために, 個別指導を行った。実習における観察の視点を明確にして実習に臨むことができたと思われる。さらに, 保育実習Ⅱ・Ⅲでも同様に実習の目標と課題についての個別指導を行った。ここでも同様に実習における実践的な課題を明確にすることができたと思われる。今後, 保育実習Ⅰと保育実習Ⅱ, 保育実習Ⅰと保育実習Ⅲの目標と課題が, 各学生の中で発展的に捉えていくことができるような指導が必要であると思われる。

実習後には実習を振り返ると同時に学びの共有化を図るために報告会を実施している。保育実習Ⅰの報告会では, グループ討議を受け, 全体会でも活発な討議が行われた。

保育実習指導Ⅱ・Ⅲでは, 報告会を4月に行った。その保育実習報告会は学生の中から選出された実行委員が中心となって企画・運営した。実行委員は, 教員と相談しながら, 計画を立て, 学生全体で協議し, 計画を修正している。報告書の形式, 印刷方法, グループテーマ・討議, 全体会の持ち方など全て学生が計画を考えている。これまで参加した報告会を生かし, 学生が主体的に運営することができた。実習内容と学内で学んだ専門科目とがつながるような討議の在り方については, 今後検討が必要である。

最後に, 本学の保育実習は, 初等教育学科幼児教育コースおよび人間福祉学科社会福祉コースで行われており, 両学科の教育方針や教育課程との関わりから見ると, それぞれの学科の学生は保育士資格の取得に合わせて, さらに別の教育・福祉専門職の資格を履修している。そのための実習は, 対人援助職ということから保育実習との共通点も多々ある。学生指導においては, このもう一つの専門職の特徴との共通点や相違点を学生が認識し, 相補的に実践的指導力が養成されるような実習指導の工夫についても検討を重ねていくことが必要であろう。(以上)